

I 事業報告書

1. 一般概況

(1) とうもろこしの国際需給の動向

2024/25年度の生産量は、世界全体で前年度比1.1%減の12億1,417万トン、消費量は、世界全体で対前年度比1.7%増の12億3,919万トンと見込まれている。この結果、期末在庫量は、対前年比8.0%減の2億8,894万トンで、期末在庫率は、前年度を2.4ポイント下回る23.3%と見込まれている。

2024/25年度の米国産とうもろこしの生産量は、対前年度比3.1%減の3億7,763万トンと見込まれている。需要量は、米国の飼料向け需要、輸出等とともに増加し、対前年度比1.0%増の3億8,394万トンと見込まれ、この結果、期末在庫量は、対前年度比12.7%減の3,912万トン、期末在庫率は、前年度を1.6ポイント下回る10.2%と見込まれている。作付面積は、対前年度比4.2%減の3,355万haと減少したが、単収は前年度比1.1%増の11.3トン/haと見込まれている。(令和7年3月11日公表のUSDA需給報告時点)

(2) 国内の配合飼料生産の動向

令和5年度の配合飼料生産量は、2,347万トンで対前年度比99.5%となり、畜種別では、養豚用(前年度比100.6%)及び肉牛用(同101.7%)において増加し、養鶏用(同97.8%)乳牛用(同99.9%)については、微減した。

令和6年4月～令和6年12月の配合飼料生産量は、1,765万トン、対前年度同期比100.1%となっており、畜種別では、養豚用(同102.4%)及び肉牛用(同100.6%)で増加し、養鶏用(同98.7%)、乳牛用(対前年度比99.8%)については、微減した。

(3) 価格の動向

① とうもろこしのシカゴ相場

とうもろこしのシカゴ相場については、令和6年3月には440セント/ブッシェル前後で推移していたが、米国産地で良好な天候が続いたことなどから、8月には390セント/ブッシェル前後まで下落した。その後、令和6年1月の米国需給見通しで単収及び期末在庫の減少の発表を受け2月中旬までに500セント/ブッシェルまで上昇した。その後、作付け見通しが市場予想を上回ったことや、米国の関税政策を受け460セント/ブッシェル前後まで下落し、令和7年3月末では、450～460セント/ブッシェル程度で推移している。

② フレート

米国ガルフ/日本間の海上運賃は、年度当初65ドル/トン前後で推移していたが、南米産穀物の輸送需要の減少による船舶需給の緩和等により、9月末までに55ドル/トン前後に下落した。その後も南米産穀物の輸送需要が低調なこと等を受けて下落が継続し、令和7年3月末では42ドル/トン前後で推移している。

③ 為替レート

外国為替は、令和6年3月には、1ドル150円台前後で推移していたが、日銀の金融緩和維持及び米国の利下げ観測の後退等により一時1ドル160円まで円安が進んだ

ものの、7月末に日銀による利上げが決定したことなどから日米金利差が縮小する見通しとなったため9月には1ドル143円前後まで円高が進んだ。米国大統領選以降、米国の長期金利上昇により1ドル156円を超える水準まで円安が進んだが、日本の追加利上げ観測や米国の関税政策による米国の景気減速懸念等により一時1ドル146円台までの円高となり、令和7年3月末では1ドル150円前後で推移している。

④ 配合飼料価格

配合飼料価格については、令和6年度第1四半期は、シカゴ相場下落などから、前四半期に対し引き下げられた。

第2四半期は、シカゴ相場の上昇及び円安などから、前四半期に対し引き上げられた。

第3四半期は、シカゴ相場下落などから、前四半期に対し引き下げられた。

第4四半期は、海上運賃の上昇及び円安などから、前四半期に対し引き上げられた。

2. 入会預り金の状況

令和6年度においては、会員及び会員からの入会預り金に異動はなかった。令和7年3月31日現在の入会預り金の状況は、次のとおりである。

会 員 別	入会預り金口数	入会預り金額
	口	千円
(独)農畜産業振興機構	8,000	800,000
(一社)全国配合飼料供給安定基金	1,268	126,800
(一社)全国畜産配合飼料価格安定基金	113	11,300
(一社)全日本配合飼料価格畜産安定基金	1,613	161,300
全国農業協同組合連合会	798	79,800
全国酪農業協同組合連合会	39	3,900
全国畜産農業協同組合連合会	1	100
全国開拓農業協同組合連合会	1	100
日本養鶏農業協同組合連合会	1	100
(協)日本飼料工業会	1,166	116,600
計 10 団 体	13,000	1,300,000

3. 業務運営

(1) 配合飼料価格安定対策事業（公益目的事業1）

① 交付契約数量

令和6年度の各契約基金との異常補填交付金交付契約数量は、当初23,973,990トンであり、基金別では、全国配合飼料供給安定基金6,761,743トン、全国畜産配合飼料価格安定基金1,225,845トン、全日本配合飼料価格畜産安定基金15,986,402トンであった。

9月に能登半島地震及び各基金間移動に伴う交付契約数量の変更を行った結果、全国配合飼料供給安定基金6,762,903トン、全国畜産配合飼料価格安定基金1,226,374トン、

全日本配合飼料価格畜産安定基金 15,986,103 トンとなり、総交付契約数量は 23,975,380 トンとなった。

② 異常補填交付金交付事業

令和6年度においては、異常補填交付金の交付要件には該当せず、異常補填交付金の交付は行わなかった。

③ 通常補填推進財源貸付事業

令和6年度においては、各契約基金が通常補填を行うための財源に対して、新たな貸付けは行わなかった。

令和6年1月より貸付金の償還が開始されており、各契約基金より機構に対し、年4回（5月、7月、10月及び翌1月）の償還が行われ、独立行政法人農畜産業振興機構から利子相当額の支援を受けて、金融機関に対して返済を行った。

(2) 調査事業（公益目的事業2）

飼料製造工場を対象に、飼料生産・出荷・在庫動向、工場渡価格、原料使用量、都道府県別生産量、都道府県別出荷先別出荷量等を毎月調査するとともに、飼料穀物の国際需給、価格、フレート等配合飼料に関連するデータを取りまとめ、「飼料月報」として毎月発行した。

4. 会議の開催

(1) 総会

① 第50回定時総会 令和6年6月27日（書面）

令和5年度事業報告及び決算について、令和6年6月27日までに会員全員から文書により同意する旨の意思表示を得たので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第59条の規定により当該事項の報告があったものとされた。

② 臨時総会 令和6年9月25日（書面）

役員候補について、令和6年9月25日までに会員全員から文書により、同意する旨の意思表示を得たので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第58条第1項の規定により総会の決議があったものとされた。

③ 臨時総会 令和7年3月27日開催

第1号議案 定款の一部変更（案）について

第2号議案 公益社団法人配合飼料供給安定機構特例補填交付事業に係る業務方法書（案）の制定について

第3号議案 理事の報酬総額及び監事の報酬総額（案）について

第4号議案 役員給与規程の一部変更（案）について

報告事項 令和7年度事業計画書、収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込みについて

(2) 理事会

- ① 第 303 回理事会 令和 6 年 6 月 10 日開催
第 1 号議案 令和 5 年度事業報告及び決算について
第 2 号議案 第 50 回定時総会の開催について
- ② 第 304 回理事会 令和 6 年 9 月 10 日（書面）
役員補選及び臨時総会について、令和 6 年 9 月 10 日に理事全員から文書により同意する旨の、監事全員から文書により異議がない旨の意思表示を得たので、機構定款第 38 条第 2 項に基づき、理事会の決議があったものとされた。
- ③ 第 305 回理事会 令和 7 年 3 月 6 日開催
第 1 号議案 定款の一部変更（案）について
第 2 号議案 公益社団法人配合飼料供給安定機構特例補填交付事業に係る業務方法書（案）の制定について
第 3 号議案 令和 7 年度事業計画書、収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込み（案）について
第 4 号議案 理事の報酬総額及び監事の報酬総額（案）について
第 5 号議案 会計監査人の報酬（案）について
第 6 号議案 役員給与規程の一部変更（案）について
第 7 号議案 臨時総会について
報告事項 令和 6 年度下期における職務執行状況報告について

(3) 運営委員会

機構業務の円滑な運営及び推進を図るため、運営委員あて資料を送付した。

5. 役員の変動

(1) 理事

令和 6 年 9 月 25 日

退任 齊藤 良樹（全国農業協同組合連合会）

就任 由井 琢也（全国農業協同組合連合会）

(2) 監事

令和 6 年 4 月 1 日

就任 三浦 康治（全国農業協同組合連合会）

6. 事業報告の内容を補足する重要な事項

令和 6 年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に規定する附属明細書の内容とすべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当する事項はない。

< (参考) 主要業務処理事項 >

年月日	業 務 内 容
2024	
4. 15, 16	文野清正公認会計士に、令和5年度の決算について監査を受けた。
4. 19	(独)農畜産業振興機構理事長より、令和6年度肥育牛経営改善等緊急対策事業(配合飼料価格安定制度運営基盤強化緊急対策事業)の補助金交付決定の通知を受けた。 補助対象経費 1,383,458 千円 補助金の額 1,383,458 千円
〃	(独)農畜産業振興機構理事長より、令和6年度配合飼料価格安定制度運営基盤強化事業の補助金交付決定の通知を受けた。 補助対象経費 272,798 千円 補助金の額 272,798 千円
4. 22	村尾誠監事、三浦康治監事に、令和5年度の決算について監査を受けた。
5. 24	運営委員会の資料を送付した。
6. 10	第 303 回理事会を開催した。
6. 27	第 50 回定時総会を開催した。(書面報告の省略)
9. 10	第 304 回理事会を開催した。(書面)
9. 25	臨時総会を開催した。(書面)
12. 18	文野清正公認会計士に、令和6年度の決算に関する中間監査を受けた。
2025	
3. 6	第 305 回理事会を開催した。
3. 17, 19	文野清正公認会計士に、令和6年度の決算に関する中間監査を受けた。
3. 27	臨時総会を開催した。

会 員 名 簿

令和7年3月31日現在

会 員 名	代 表 者 氏 名	住 所
(独)農 畜 産 業 振 興 機 構	理 事 長 天 羽 隆	東京都港区麻布台 2-2-1
(一社)全国配合飼料供給安定基金	理 事 長 八木岡 努	東京都千代田区内神田 1-4-1
(一社)全国畜産配合飼料価格安定基金	理 事 長 隈 部 洋	東京都渋谷区代々木 1-37-2
(一社)全日本配合飼料価格畜産安定基金	理 事 長 庄 司 英 洋	東京都港区麻布台 2-2-1
全 国 農 業 協 同 組 合 連 合 会	経営管理 折 原 敬 一 委員会会長	東京都千代田区大手町 1-3-1
全 国 酪 農 業 協 同 組 合 連 合 会	代表理事 隈 部 洋 会 長	東京都渋谷区代々木 1-37-2
全 国 畜 産 農 業 協 同 組 合 連 合 会	代表理事 加 藤 義 康 会 長	東京都中央区新川 2-6-16
全 国 開 拓 農 業 協 同 組 合 連 合 会	代表理事 新 津 賀 庸 会 長	東京都千代田区平河町 1-2-10
日 本 養 鶏 農 業 協 同 組 合 連 合 会	代表理事 杉 原 健 一 会 長	東京都千代田区神田須田町 1-7
(協)日 本 飼 料 工 業 会	会 長 庄 司 英 洋	東京都港区麻布台 2-2-1

役 員 名 簿

令和7年3月31日現在

役 職 名	氏 名	所 属
理 事 長	石 木 俊 治	(公社)配合飼料供給安定機構
専 務 理 事	長谷川 博 章	(公社)配合飼料供給安定機構
理 事	由 井 琢 也	全国農業協同組合連合会 常務理事
理 事	隈 部 洋	全国酪農業協同組合連合会 代表理事会長
理 事	杉 原 健 一	日本養鶏農業協同組合連合会 代表理事会長
理 事	庄 司 英 洋	(協)日本飼料工業会 会長
監 事	村 尾 誠	日本食肉流通センター卸売事業協同組合 専務理事
監 事	三 浦 康 治	全国農業協同組合連合会 畜産生産部次長

運 営 委 員 名 簿

令和7年3月31日現在

氏 名	所 属 職 名
中 山 俊一郎	(一社) 全国配合飼料供給安定基金 常務理事
大 森 一 幸	(一社) 全国畜産配合飼料価格安定基金 専務理事
引 地 和 明	(一社) 全日本配合飼料価格畜産安定基金 常務理事
佐 藤 哲 誠	全国農業協同組合連合会 畜産生産部推進・商品開発課課長
鈴 木 有希津	全国酪農業協同組合連合会 購買生産指導部長
松 本 康 志	全国畜産農業協同組合連合会 事業部次長
臼 井 靖 彦	全国開拓農業協同組合連合会 事業推進部長
鈴 木 崇 之	日本養鶏農業協同組合連合会 事業部次長
高 橋 洋	(協) 日本飼料工業会 専務理事